

## 令和7年度 第4回 学校運営協議会 記録

R8.2.18 (水) 13:30~15:30

※外部参加者 (学校運営協議会委員)

菅沼 泰夫氏 (三方原地区根洗町自治会長)

片桐 秀樹氏 (細江地区湖東自治会長)

藤田 真人氏 (社会福祉法人聖隷事業団 総合病院 聖隷三方原病院  
執行役員・事務局長)

尾関ゆかり氏 (浜松市社会福祉事業団 浜松市発達医療総合福祉センター  
相談支援事業所シグナル 所長)

加藤 久貴氏 (弁護士法人 リコネス法律事務所 弁護士)

山田 浩昭氏 (浜松学院大学 教授)

松本 浩一氏 (本校 PTA 会長)

※校内参加者 校長、副校長、教頭、事務長、小学部主事、中学部主事、高等部主事、  
訪問教育主任、教務課長、総務課長、防災安全課長、教育支援課長

### <学校運営協議会>

1 開会の言葉

2 校長挨拶

3 協議事項

(1) 学校評価

【高等部生徒の発表「車椅子利用者の防災」】

【全体 (学校自己評価、保護者アンケート結果)】 副校長より説明

○事後も含めた緊急時の対応力向上

・ A 委員：パーセンテージはどのようにつけているか。

⇒副校長：教員にアンケートを取り、自己評価が A・B を合わせたものを示している。

・ 委員一同：A 評価で良い。

○すべての児童生徒が体調を整え、気持ちよく生活できるための取組の充実

・ B 委員：記名式でアンケートを取っているか。

⇒副校長：取っている。

⇒B 委員：C・D 評価のときは、どのようにしているのか。

⇒副校長：具体的な改善策を書いてもらうようにしている。

⇒B 委員：給食の異物混入は本来ないものだと思うが、具体的にどのようなことか。

⇒副校長：異物混入が疑われる際は、全校放送をかけて、その都度管理職を含むメンバーで確認している。トウモロコシの皮など、人体に影響のない物の混入があったが、昨年度より全校放送の回数は減っている。

・ C 委員：100%の達成を目指しているのか。

⇒校長：目指すところは 100% だが、成果目標に掲げた姿や状態になっているかどうかで評価している。

・委員一同：B評価で良い。

○多様性を認め合い高い人権意識をもった児童生徒と教員

・D委員：人権についての研修の外部講師は誰を呼んだのか。

⇒副校長：静岡県人権啓発センターより、人権を取り扱っている専門の方を招いた。

・C委員：人権チェックシートの全体の評価結果はどのようになったのか。

⇒副校長：全体の評価結果は出していない。人権チェックシートのセルフチェックも行い、それを基に各学年・グループで反省、共有を行った。その内容については、掲示板で共有している。

・B委員：評価方法は、自己評価か、それとも集団の中での他者評価なのか。

⇒副校長：自分の取り組みに対する評価であり、第三者からの評価ではない。

・委員一同：おおむねはA評価で良いが、人権チェックシートの取り組みを通して、全体として人権意識が高まったかどうかを検証していきたい。

○教育課程の組織的な検討と仕組みづくり

・A委員：D評価もあるが、どういったところでA評価になったのか。

⇒副校長：教育課程の見直しを行い、来年度に向けて教育課程を改定したが、新しい取り組みを行っているので、具体的なイメージがもてず、厳しい個人評価になったのかもしれない。

・委員一同：A評価で良い。

○「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業づくり

・委員一同：A評価で良い。

○教員の専門性の向上

・E委員：B評価は厳しくつけているのではないのか。教員の努力を評価してもよいと思う。

⇒副校長：話し合いの時間がなかなか取れず、低い評価を出した教員もいる。

・委員一同：肢体不自由教育の指導は特に専門性が必要である。厳しめの評価ではあるが、B評価で良い。

○キャリア教育の充実

・委員一同：A評価で良い。

○ICTの活用の充実

・E委員：どのくらい的人数がICT機器を使っているのか。

⇒副校長：児童生徒全員にiPadを用意している。教員と一緒に使っているケースも多い。

・D委員：ICT機器に詳しい方を外部に委託してもよいのではないのか。

⇒副校長：多くの教員が機器を使えるように、実践事例集を活用していく。

・B委員：機器の使い方が分からないのか、それとも、どの場面で使ったらよいのか分からないのか、どちらのケースが多いか。

⇒副校長：今年度は、前者の方に力を入れてきたので、来年度以降は後者の方を重点的に取り組んでいきたい。

・委員一同：B評価で良い。

○保護者や地域、関係機関との連携強化と情報発信

・C委員：交流先の学校の評価はどうだったのか。

⇒副校長：相手校のホームページで紹介されたり、お手紙をいただいたりして、プラスの意見が多かった。

・F委員：継続して行っているので、自信を持ってよいところだと思う。

・委員一同：A評価で良い。

○地域に根付いた学校づくり

・委員一同：A評価で良い。

○生涯を通じて豊かに生きるための教育活動の充実

・委員一同：A評価で良い

○共に支え合い、働きがいのある職場づくり

・委員一同：A評価で良い。

○指導の充実に向けた働き方改革の推進

・B委員：実際に時間外勤務が45時間を超す人はいるのか。

⇒副校長：年度当初は多いが、6月以降になるとだんだん少なくなる。毎年、このような傾向になっている。

・D委員：働き方改革の工夫はしていたか。

⇒校長：職員室の中に、気軽に話し合いができるスペースを設置できるとよい。

・委員一同：A評価で良い。

#### 【保護者アンケートの結果】教務課長より説明

#### (2)令和8年度の学校教育目標 校長より説明

#### 4 諸連絡

#### 5 閉会の言葉

#### <校内コンプライアンス委員会>

#### 1 開会の言葉

#### 2 学校の取組説明

・人権に対する取組（授業アンケート、人権チェックシート、グループワークによる振

り返り、コンプライアンス通信による注意喚起など)

- ・交通安全対策（交通安全に関する掲示・呼びかけ、交通安全運動、コンプライアンス通信による注意喚起、交通安全運動等）

### 3 意見・助言

・F 委員：不祥事根絶のために、様々な工夫をしている。教員に取組のアイデアを出してもらってもいいかもしれない。

・E 委員：人権チェックシートなどの分析の仕方をさらに考えていきたい。

・G 委員：防災訓練などでつながりを保っていきたい。

・A 委員：研修等でのグループ編成を工夫している。参考にしていきたい。

・C 委員：参考にしたい取り組みも多く、良い学びの時間になった。

・B 委員：実際に何かトラブルがあったか。

⇒副校長：ハラスメントについてはない。交通事故は、加害・被害ともに何件かあった。

・D 委員：飲酒チェックの機器の精度が悪いことがある。

⇒副校長：使用期限などを確認している。

### 4 お礼

### 5 閉会の言葉